

イノベーションの根幹となる水素人材の育成

藤元正二

福岡水素エネルギー戦略会議（福岡県商工部・新産業技術振興課）

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7（福岡県庁内）

『福岡水素エネルギー戦略会議』は、全国の先進的な水素関連企業や九州大学をはじめとする大学等が結集して設立された産官学連携組織です。平成16年8月の設立以来、「研究開発」「実証活動」そして「人材育成」を事業の柱に据え、環境にやさしい水素エネルギー社会の実現を目指して活動してきました。

今回は、その中でも全国に先駆けて取り組んだ水素関連人材の育成についてご紹介します。

1. 全国初の水素関連人材育成機関

戦略会議設立当初、産業界からは、水素・燃料電池関連技術の実用化を図るために、当該分野において幅広い視野を持った技術者の育成が強く求められていました。こうした産業界の要望を踏まえ、企業の技術者が水素に関する幅広い知識と技術を習得できる場を提供しようと検討されたのが「福岡水素エネルギー人材育成センター」設立のきっかけです。

事業の企画立案を担う戦略会議幹事会のもとに人材育成委員会を設置し、カリキュラムづくりから講師の選定、さらには費用負担・開催時期等の運営方法を検討しました。人材育成委員会は、当時、「水素利用機械システムの統合技術」で文部科学省の21世紀COEプログラムに全国で唯一採択され、広範な水素研究とともに教育を実践していた九州大学の先生方と、受講者として社内の技術者を参加させる側に立つ企業の方々から構成され、現場で求められる人材像をイメージしながら議論が重ねられました。まさに無から有を生み出すために多方面から検討され、原型ができたのは構想から約1年後のことでした。

議論の詳細は割愛しますが、当初の構想に加えられたのは、技術者だけでなく、これから水素エネルギー・燃料電池分野への参入を目指す企業経営者の育成も手がけようというものです。校長には、トヨタ自動車株式会社

の渡邊浩之技監に就任願い、平成17年10月に「技術者」と「経営者」を育成する2つのコースを立ち上げました。

2. 研究開発等の最前線で活躍する「技術者育成コース」

水素エネルギー利用の最前線で研究開発等に従事する専門技術者の育成を目指す「技術者育成コース」では、水素の物性から利用、安全に至るまでの幅広い知識を習得できること、そして受講者に興味を持ちながら理解を深めてもらう工夫として、講義に対応した実習を組み込んだことが大きな特徴です。

特に実習は、平成18年度から九州大学伊都キャンパスの最新設備を利用させていただき、実践的な内容となったことから、現在も受講者には大変好評です。今年度からは実習をさらに充実させるため、開催期間を3日から4日間に延長しています。

講師陣は九州大学や戦略会議に加入する全国有数の企業の方々です。技術者育成コース運営上の一番の難しさは、非常に多忙な講師の方々の日程調整と言えるかもしれません。講師の方々のご尽力により回を重ねるごとに講義内容が充実しています。本当に講師の皆様のご協力なくしては成り立たない事業です。

受講者は関東を中心に県外からの参加が7割を超え、



写真1. 技術者育成コースの実習風景

30歳代の若手研究者が中心になっています。実習を伴うため定員20名での実施となっていますが、逆に少人数であることが仲間意識を醸成し、講義後の活発な質疑応答につながっています。

3. 意欲ある企業の育成「経営者コース」

これから水素エネルギー・燃料電池分野への参入を目指す企業の経営者や幹部の方々を対象にした「経営者コース」は、講義中心の半日コースです。時間がなかなかとれない経営者の皆さんの都合を考慮しての設定ですが、内容は講義のみにとどまらず、渡邊校長の講話から九州大学の水素関連施設見学と盛りだくさんです。6月に開催した今年最初のコースも募集開始早々に定員の40名に達する好評ぶりでした。

このコースを設定するに当たり、人材育成委員会で議論となったのは、既存セミナーなどとの差別化です。水素・燃料電池に関するセミナーは全国で数多く開催されています。私たちはこうしたセミナーとの違いを講師の方々とのネットワークづくりに求めました。定員の40名も講師の方に遠慮なく質問ができる規模。講義終了後には、講師の方々はもちろん、九州大学の先生方も交えての名刺交換会を開催。「今日、すべて理解できなくても、何かあれば遠慮なくどうぞ」というアットホームな雰囲気は、参加者の皆さんに感じていただけたと思います。

コース設立の趣旨から、受講者は県内からが半数、県外も九州が中心となっています。

今年2回目は12月2日に開催予定です。



写真2. 経営者コース施設見学の模様

3. これからの展開「高度人材育成コース」

冒頭記載しましたとおり、水素関連人材の育成は全国

に先駆けて戦略会議が実施し、現在も全国唯一の取り組みです。このため、カリキュラムや運営方法は受講者の皆さんからの意見を踏まえ、毎年、改善しています。こうした実績を(独)NEDO技術開発機構から評価いただき、今年度から「技術者育成コース」と「経営者コース」を後援していただいております。

また(独)NEDO技術開発機構や九州大学、(独)産業技術総合研究所との共催で、水素・燃料電池分野の将来を担う大学生・大学院生等の若手を対象とした「高度人材育成コース」も新設しました。

8月26日から28日までの3日間、世界で活躍する研究者、企業の最前線で水素社会を切り拓く技術者の方々が講師となり、自分の専門分野にとどまらず研究から製品開発までの幅広い分野を俯瞰できる若手の育成を目指します。掲載時期の都合で誌面での開催報告はできませんが、戦略会議のホームページでご確認いただければ幸いです。

URL : <http://www.f-suiso.jp/jinzai.html>

4. さいごに

福岡水素エネルギー戦略会議は、「水素人材育成」をはじめ「研究開発」「社会実証」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」の5つを柱とする「福岡水素戦略」を展開しています。

「水素エネルギーをもっと身近に利用する」との思いを込めて、Hydrogen Life、Hy-Lifeプロジェクト(ハイ・ライフ・プロジェクト)を略称にしています。

「福岡水素戦略」は、水素エネルギー社会を実現するために必要な施策を総合的に推進する先導的な取り組みであると自負しています。私どもの取り組みが起爆剤となり、我が国が水素・燃料電池の分野で世界の主導権を握ることができるよう頑張ってまいりたいと思います。

最後に、福岡の水素戦略は、会員である多くの民間企業、九州大学や(独)産業技術総合研究所をはじめとする大学、研究機関・支援機関のみならず、経済産業省資源エネルギー庁、九州経済産業局、(独)NEDO技術開発機構、北九州・福岡の両政令市など多くの方々のご支援やご協力に支えられています。

この場をお借りして関係各位に心からお礼申し上げます。